

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-144)、  
廃棄物管理施設(119))」
2. 日時：令和6年1月30日(火) 10時00分～12時05分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
核燃料施設審査部門  
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)  
長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、岸野主任安全審査官、羽場崎  
主任安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官  
日本原燃株式会社  
決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他3名  
東電設計株式会社 土木本部 耐震技術部 部長
5. 要旨  
(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和6年1月29  
日提出資料に基づき、設工認申請の対応状況(次回審査会合での説明事項)  
について確認を行った。  
  
(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。  
・審査会合での説明範囲を整理した上で、予断を持たずに丁寧に敷地の地盤  
構造として分析した結果を示す。
6. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
7. その他  
提出資料  
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)
- ・ 令和６年１月２９日  
「日本原燃（株）再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	それでは、
0:00:07	本、
0:00:08	は、令和4年12月20、
0:00:19	を提出しよう。
0:00:24	一応出席者ですけれども、古作調査官。
0:00:28	キシノハセガワ管理
0:00:30	先、
0:00:31	ます。
0:00:32	それでは、県から出席者の紹介と、資料ですね、変えたところ、
0:00:40	中心に簡単に説明いただける。
0:00:47	はい、日本原燃事務局中浜です。
0:00:50	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:54	ケツク、
0:00:56	ノモト、
0:00:57	オガセ、
0:00:58	ヤマグチ、
0:01:00	東電設計様よりウノ様。
0:01:03	ウェブから最初に事務局参加させていただいてございます。
0:01:09	それでは説明の廃止お願いいたします。
0:01:14	ノモトでございます。
0:01:17	アシダ。
0:01:18	ヒロ案ですけれども、
0:01:20	前回からの主な変更点でございますけれども、まず大きな変更点といたしまして、構成ですね、これをですね、
0:01:30	前回のお開きコメント等をもとに見直しもありました。で、4ポツ目はデータをグループごとに繋ぎ整理すると、5ポツのところ、そのデータを見比べてみる形での、
0:01:45	施設集まるものを集めるという趣旨で、これ直してございませんで6ポツでは、そのまとめた結果を、ごとにですね、主にそのケースについて、比和からシンボまでのうちのどれかといったような議論をするといったようなそういうふうな形でございましてで、
0:02:04	結論のところ申しますと、5ポツのところだと、データ再整理の結果というのは153154ページ。
0:02:14	ところに記載するようなところございまして、似たものを集約した結果ということで、このような、それぞれのですねデータに由来するものがどこに、

0:02:26	ジャムとして減ってきてるから、言ったような正常値、
0:02:31	結果といたしまして、自然と集まってくるものという形でいきますと、岩盤物性でいうと今日地盤に属するようなグループたちは、一つとして扱えるかなと、それからアベ砂丘についても一つに、
0:02:46	扱えるような整理をしてございますけれども、施設周辺、これはもうこのまま韓国それから東側、Appがこれサーバーとしては、自然と一緒になるかなというところですけどもセット中はこれも一緒にならないと。
0:03:02	というのがもう整理をしてございます。
0:03:05	衛藤磯先生につきましてはこれ、イシイから、
0:03:10	出して、よかろうというような、そういう整備を起こしているところでございます。
0:03:16	で、これ本当に6ポツの整備といったような構成にしてございまして、えーとですね、結論としまして、172ページ173ページここですね、すいません、今回、
0:03:30	ご提示できていないのが、これ、えっとですね、ちょっとイメージ書いてございますけど周辺のところしか、きちんとはつけてございまして、これちょっと全部、あの中にグループをつけるべきところですね。
0:03:42	すいませんけど我々ちょっと手が回らず近づいてすいませんちょっと提出してしまったというところでございます、これは同じようなまとめ方で業務グループを
0:03:52	つけようというふうに考えてございます。
0:03:55	ですね、もう一つ大きな変更点といたしましては、4ポツのデータ整備の所でございますけれども、方針を分析方針を冒頭に書いて、そのあとに個別の
0:04:09	グループごとの
0:04:13	指導を行うということにしてございまして、今、23ページからが更新で、これを28ページまでお示ししてございます。29ページから各グループの
0:04:26	精査を示すと言ったような構成にしてございます。
0:04:32	大きな変更点は以上でございましてですね、今ちょっとできていないとフォローといいますかアノコウってちょっと移させていただきなきゃいけないところがやっぱりちょっと残っております、もうそれだけちょっとお話しさせていただきますと、
0:04:45	えっとですね、130ページ、24グループを預けた性のところでございますけれども、これ絵の中で分析を書いているんですけども分析の中で、

0:04:59	13条の方についても、このですね、その許可、許可じゃないですけども、個別のもうブースらせていなきゃいけないと。
0:05:11	一旦説明ここに136の場所の設定がちょっと書いて、
0:05:17	書かなきゃいけない。
0:05:25	これは同じ色でやってんですけど色分けが
0:05:28	というのが、ちょっとやり直してしまった話でございます
0:05:32	あと170ページの、
0:05:37	ね、これちょっと違うって書いてますけど反面、
0:05:40	野瀬の広井です。
0:05:43	今ちょっとセキてない業界。
0:05:45	あと先ほど申し上げ、
0:05:46	12ページ133ページの、各グループのシートが、今ちょっとついてない状態ちょっとそれが今、すいません。全部出すと言いながら、残ってきたところでございます。ここを整えて参りたいというふうに考えてございます。簡単に以上でございます。
0:06:01	はい。規制庁、
0:06:03	藁谷ましようか。なんか一つも全部出しますって言われる、基本的には、規制庁の長谷川ですけど、まず
0:06:13	大事なことが、
0:06:14	データすべてデータが整いましたっていうことだから、まず4まではちゃんとしてもらいたいんだよねそうしないと。
0:06:23	5とか6とかそんなのは、入れないので。うん。だとすると3と、まず4のあたりを、幾つか我々も、
0:06:33	何か疑問点があるんで、
0:06:35	まずそこから、はい。うん。
0:06:39	後はたくさんあるから、まず3と4、ちゃんとしてからでしょう。
0:06:50	高良さんとか、まず東ソーの話原審評価の話じゃまず1ポツ、
0:06:59	まず1ポツ2ポツから始めて4ポツまでのアイテムを明確にするっていう
0:07:06	ふうになってると思うんですけど。
0:07:08	これがちゃんと書けてるのかっていうのもちょっとよくわからないんですよ。
0:07:12	前回までは
0:07:15	話をしてもしようがないので飛ばしますけど、今回、
0:07:21	①
0:07:24	整理結構信頼性っていうことですけど、ここ、これまで説明してなかったものを、

0:07:33	登場人物とするものを一式開けますと、
0:07:36	いう場所ですけど。
0:07:39	岩石コア試験結果は
0:07:44	単位体積重量って何ですか。
0:07:49	そうですね。なるほど。はい。
0:07:53	そうでございます。ここの
0:07:59	大企業のデータは、おって、前回、私はしていたのでそこを回収したつ もりの国債でございます。そうですねそうです。そういう説明じゃなくて、 なぜここにとった。
0:08:11	そう。そうです。パッケージだからさ。はい。それじゃね。はい。
0:08:16	やるって言ったの宿題の台詞ですみたいなさ、そういう会話じゃないよ ねそれ議論じゃないじゃない。何でやるって言って、残ってたんです。
0:08:25	何のために使うもんで、そもそもあったんだろうかっていうこと。
0:08:31	はい。なんで残ってた規制庁かみずからの岩石コア試験の結果で、新 しく単位体積重量もデータをとってそれによって扇形のステップ、
0:08:43	だったり、応答解析になってますので、その辺の検討は改めてやり直し ますと言っていたから、岩石コア試験が出てきたタイミングで、その中 で、
0:08:54	だからこれこれのデータを最新化しましたってそういう説明です。はい、 ありがとうございます。いいです。だから、そういうようなことはちょっと或 いは原燃が説明できない。
0:09:09	繰り返し、
0:09:10	全部が何か唐突なように見えてですね。
0:09:14	清。
0:09:15	またここ戻って6ページの今のところですけど、その時及びポツになっ てきて、
0:09:22	表層地盤物性の埋戻しと。
0:09:25	田井支店なんですけど、でも後には、流動化処理どのページもあるん ですよ。
0:09:33	流動化処理どう先期が入ったら提示されることになりますけど、そうじゃ ないんですけど。
0:09:40	追加を説明しているのであるからしてということになるとそうですね、ちょ っと見てないでしょ。はい。
0:09:49	毎回最初
0:09:51	生井
0:09:53	店。
0:09:54	何十回も。

0:09:56	同じ場所を見て、
0:09:59	見てないですよ、1 ページをですね、見てる、言い訳ください。
0:10:05	今ですと、ことにならないタテ気がつかないんだもん。いや気がつかないと言えばそれがチェックチームの仕事なんですよ。
0:10:15	何でちょっと今後の流動化処理等をここに入れたかっていう意図をちょっとお話をさせていただいていいですかこれがいいか悪いか別として、
0:10:24	いや、あっていいんですけど、はい。
0:10:27	なんでありますって1 ポツで書かない。
0:10:30	えっとですね、流動化処理は追加調査をやったわけではないんです。ないんですけれども、今回、この構成をですねロジックを見直した時に、
0:10:42	この表層の部分については、このデータを採取しているこの段階で、これ新規全体で取得し、扱えるかどうかっていう、この判断を判断といいますか、整理をしたと。
0:10:56	構成にしたもんですから、この構成で投入する今回ちょっと流動化処理でも初めてだなと思いつつながら、ここ書かないとちょっと前回とのちょっと大分から入ったから、今回ここで説明しなきゃと思ってるのであれば、はい。
0:11:12	今回説明しますっていう説明を1 本にしなきゃいけないんでしょ。そうですね。はい。
0:11:17	説明する。
0:11:18	そうですね。はい。
0:11:20	だからなんかそうだね。前の人には説明だと思っさ。毎回捨てちゃえばいいんだよね。で、
0:11:28	こういう説明資料の中で、ずっとさ、厚労省、
0:11:34	ヨシナガれていて、
0:11:38	うん。
0:11:38	この話は全部やり直しましたっていうところで、イマイ発、
0:11:46	ねえ。はい。新しく作り直していくわけですよ。
0:11:50	ただそれだけでは、
0:11:52	だから今回使うデータのはこれで信頼性がある。
0:11:59	信頼性があります。だからこうやって使えますみたいな。
0:12:02	変じゃないか。
0:12:04	そうです。基本構成を。
0:12:06	ちゃんとトレースしてもらいたいですよね。はい。はい。
0:12:12	基本はそういうことがこれそこかしここれからいっぱい出てくる。
0:12:17	基本から開いて外しちゃってんだよ。
0:12:21	今言い訳したけども、毎回は聞いてないからね。

0:12:26	たくさんある。
0:12:29	ということで6ページの①のところ、前半部分の後半部分、ちゃんとマテハン部分とか岩盤のところの、
0:12:38	要素のところ、埋め戻しとか表層流下っていうか処理と、
0:12:43	について説明する趣旨。
0:12:47	ございます。そうですね。はい。
0:12:56	今のやりとりをさしていただいて、
0:13:03	やっぱり、
0:13:04	イセ
0:13:05	ホンダっていうお話をいただいて、
0:13:09	これ、今回ですね、追加したところだけ書くんじゃなくて、
0:13:14	前回、
0:13:15	お出しした、他の試験とこです。これも最近で、やはりちょっとここは、
0:13:22	そしてワンスローで、
0:13:24	そういうような、いや、すいません、人間の検討です
0:13:29	まさにこの6ページは今回の説明の目次になるところで、今回新たに流動化処理も、今までやりますやります言うて、実は時間飛ばしてたので、今回ようやく持ってきてたんですよ、前に持ってきたんで、
0:13:43	構成上、ここかなというて書いてしまったというそういうことだったんです。
0:13:48	いやだから毎回ちゃんとそのね、会合の資料として完結するように、すればいい、今回の会合として完結するようにここは、流動化処理でも追加の資料、
0:14:02	矛盾が生じちゃうわけですよ。
0:14:05	だから最低でも別に何でもいいしね、過去のデータにしてもいいんだけど、
0:14:11	常に細胞の中では、一貫してないと。
0:14:16	そうですね。
0:14:17	ていう、多分それだけだから、毎回そういうつもりでちゃんと確認してくださいね。
0:14:23	はい。
0:14:26	6ページに追記させていただきます。
0:14:29	いろんなものが追加になったらそれに伴っていろいろ変わってくる。
0:14:34	はい。
0:14:41	今の時点で、
0:14:43	14ページの
0:14:45	はい。



0:14:46	ということだとすると、これまではこういうところで説明したけれども、
0:14:51	こういう位置付けとしてここに移しましたよみたいなこと。
0:14:58	前回会合資料に加筆とかって
0:15:01	うん。元あったところに変えてるときは、
0:15:07	はい。
0:15:09	前回から何でこう変えたかっていうことをご説明し始めると、
0:15:13	やはりですね説明としてわかりにくくなるかなというふうに思いますので、すみませんが、14 ページで本トダテタダられたら、余計わかんないです。おっしゃる通り、おっしゃる通りですね。
0:15:25	先ほどからのお話を伺って、ここにですね、データの信頼性とデータの取得のところですね、これを改めてこの断面で全部アノをセットするんであると。
0:15:38	いう立場で、このですねを開いてもみんなここへ入れてしまう。そうすれば誘導の所もこの中に入ると、こういう整理で今回まとめるのがふさわしいんじゃないかなと、いうふうに思っています。
0:15:54	その旨をちょっと重ねてわかります。はい。そうですね。はい。
0:16:01	14 も入っ修正。
0:16:08	規制庁浜辺ですけども、そうすると14 というか2 ポチ自体がですね、随分変わってくるということですかね。今、例えば6 ページ、
0:16:16	今回の説明内容①っていうのは、2 ポチの話ですけど主に、
0:16:23	イマダニワサンポジンボ③が、館ですね。で、①について、今、
0:16:30	スタイルは、今のここで書いてあることは、前回からの追加として、岩石コアの追加分ということで、11 ページが追加されますよ。
0:16:39	単位体積の重量の話は10 ページに追加されます。
0:16:43	表層埋戻しについてはこれ、年末に試験を追加されたということで12 ページ、13 ページに追加されますよう、対応できてるわけですね。
0:16:52	ところが、先ほど来帖佐さん言った14 ページ、
0:16:56	何かデータあるけど、アノし、
0:16:58	出てるけど、
0:17:00	ニシナイデオクガワないって言ってるんだよね。
0:17:05	だから、
0:17:06	そっちのがまず6 ページの①のところに、流動化処理の状況を説明すればするべきじゃないですかっていう話をしています。はい。それは一つの解決方法だと思います。
0:17:17	今宇野さん言ったのは①の内容を、
0:17:21	また、前回までの説明も含めて、
0:17:24	入れ込みますっていう話なんですけど、全然

0:17:29	どちらでもいいんですけども、
0:17:34	今回の説明前回の会ご指摘を受けて、こうしますっていう中で、
0:17:38	また重複するものを指してつけるパターンというところです。
0:17:44	趣旨がわかっていたらどちらがわかりやすいか、考えていただければと思います。はい。
0:17:52	承知いたしました。
0:17:54	一番日本原燃オガセですけど、一番最初のやりとりであった、今回何でこのデータを追加したのかっていう経緯をちゃんと1ポツで書いて、それがちゃんと繋がりが、それぞれの9ページから14ページまで、
0:18:04	ちゃんと書けていれば、何で今回ここにポツで、そのデータを出したかわかりますのでそれ、そういう対応で十分だと。
0:18:11	はい。
0:18:14	はい規制庁でございます考え方だと思うので、わかりやすい説明をしてもらえればと思います。
0:18:21	はい。以上です。
0:18:32	来てた方が聞いてですが、
0:18:35	一つは、1ポツにこっちで、
0:18:40	確認なんですけど、
0:18:48	7ページ。はい。
0:18:53	7ページで、これ今回のタスクで、
0:18:58	取り扱うデータ一式な。
0:19:04	ここで椎野費用データによる検討というのも結構いっぱい書いてあって、
0:19:10	決裁権そうだと、企業さん知見とか、
0:19:15	これって一1ポツ2時には書いてあるんですけど3ポツになると。
0:19:21	これっていうのは、
0:19:24	ご理解いただきたいと思います。
0:19:30	はい。日本原燃のオガセです粗相ですね実はちょっと今回はもう、
0:19:34	ことなんですが入札の段階では企業データもある。
0:19:38	ところが、位置付けとしてはあって、
0:19:40	4ポツ、4ポツから5ポツで実は今日データでもっかいちゃんと見に行っているところがあるので、3ポツに触れるべきがああ答えですのでちゃんと3ポツで、扱いを、はいすいません、今続いてしまっておりましたら入れることにいたします。すいませんちょっと整合不整合です。
0:19:53	はい。
0:19:55	今回の資料がないので確認。
0:19:57	この3点で、

0:19:59	どこの、
0:20:00	はい。はい。そこなんです、ちょっと多分マップもつけなきゃいけない なというのは、3ポツの各グループをどこのグループにはめるかというところの整理をちゃんとしないといけないっていうのがわかっておりまして、
0:20:11	それをやるとですね、ちょっと、
0:20:14	いいですございますんで、中央と西は西は施設分とかすぐ近くで中央はF施設グループの中からです。はい。で、ヒガシは、建物あるところからはるか北なんでちょっと。
0:20:27	ちょっと入れないかっていう議論が必要だなんていうのはちょっとと思って答えております。はい。わかりました。
0:20:37	フクイ的にはおっしゃる通り、ヒガシなかったよなと思います。
0:20:45	見立ては、
0:20:47	つまりベース他の信頼性、予防、
0:20:53	要は、要するに、別の言い方をする
0:20:55	よっぽど追加使おうとするデータ。
0:20:58	がすべてそこで信頼性がわかってもらわない限り、
0:21:03	3ポツ以降いけませんよっていう
0:21:07	それを、そういう確認をして欲しい。
0:21:12	はい。
0:21:16	ツール2ポツでデータの信頼性が確認されていないデータは、3ポツ以降使えません。はい。
0:21:24	そして次に、その信頼性が確認できたらさっポツでエントリーしないものは、4ポツ以降ですね、いけません。はい。はい。
0:21:36	とそういうこと。
0:21:38	これは常にルールだから、
0:21:41	ちゃんと守って、
0:21:41	はい。
0:21:43	守られております。
0:21:46	これが守られてない。
0:21:53	規制庁浜崎ですけど、
0:21:56	調査官ヨーロッパです。はい。
0:21:58	そうするとちょっと今のお話で確認しますけども、9ページの2ポツの段階で
0:22:04	ヤスタ検層3地点が書いてありますよね進行のところに、
0:22:11	今の説明ですと、3ポツのF地点のところ、江崎ホソノところに費用のえさ転送というものを書くということでもいいですか。

0:22:22	はい。日本原燃渡瀬です。そういうイメージでも、
0:22:27	西については、いいですね、ヒガシシマヒガシはちょっとすいません集まりよろしくお願ひしますカナイカナイカナイはい。
0:22:37	はい規制庁ヤマザキです。
0:22:39	ちょっとそうしますと、先の話になりますと、4 ポツでも、
0:22:43	F施設移設に園木洋行の結果が出てくる。
0:22:47	日本原燃のオガセですが、
0:22:51	おっしゃる通りで、
0:22:53	例えばねすいません。
0:22:55	でも、
0:22:58	例えば、
0:22:59	80 ページとかみたいな、
0:23:04	デイ・シイグループ。
0:23:05	アベイシイだからあまり意味がないですか。うん。ちょっとFですね、Fですね。
0:23:13	んですと例えば 43 ページですかね、40、
0:23:18	はい。このアノした右下の図に入ってくる
0:23:21	はい。これから来る増える増える来る。
0:23:25	はい。43 相神より 3 エントリーしたら 4 で結構ですけど、なんで入れ入れるという、46 の右上もおっしゃる通り、
0:23:37	はい、わかりました。
0:23:43	施設も同様ということで理解しました。はい。以上です。
0:23:55	今、
0:23:56	東側は使わないという選択肢が、それも言いたい。
0:24:02	別の理由で使わない。
0:24:05	藤清子ですか。
0:24:08	そうですね。本当。
0:24:12	そのデータが、
0:24:16	あのね、
0:24:17	コウのデータがないので、
0:24:20	そういう意味では、
0:24:22	行政データをやっぱりちょっと立って、数をできるだけふやしたという思いがございます。
0:24:30	へえ。
0:24:31	このデータが正しい。
0:24:33	はい。はい。
0:24:36	信頼性はあるんですけども、

0:24:38	新しくとったデータとか違うねっていう。
0:24:41	日本原燃、
0:24:43	蒲生アノ西については新しくとったデータと既往のデータってのが同じような傾向を示していますので、これは同じしかも近い企業が違う。
0:24:52	そうそうです。
0:24:54	中央、ちょっと
0:25:00	うん。はい。なんで。
0:25:04	なんです。
0:25:10	そういう疑問が入ってくる。
0:25:16	おっしゃる通り、
0:25:21	信頼性あるのか。
0:25:27	違って当然ですよ。
0:25:29	ばらつきの範囲内。
0:25:32	うん。
0:25:33	いうそういうこと。
0:25:36	は、教授さんも、
0:25:39	いや、カタギリ野瀬にはなってます。若干ちょっとカナイ。
0:25:44	ハウジョウ設計もございしますが、
0:25:47	やはりですね、
0:25:50	規定自体は、しっかりしてると思うんですけども、その分析、
0:25:54	ですね。
0:25:55	それはやっぱり、昔の分析方法っていうのは、
0:25:58	やはり
0:25:59	高周波数がなかなか取りにくい。
0:26:02	まして、そういうことからするとですね、大体、今やってるその 10 通の近傍はですね、精度は確保できてるんじゃないかというふうに思われますけども、
0:26:14	やはり今回、ちょっと谷なってる場所はですね、やはりその高周波数の方の成分がですね、取りにくいというので、
0:26:21	ちょっと信頼すれば落ちるかなと。
0:26:28	そしたら、
0:26:30	信頼性のところで、今、
0:26:36	どんなね。
0:26:40	そもそもの測定時点からね。
0:26:44	はい、解析で、
0:26:46	そういう
0:26:47	今言ったようながあるわけ。

0:26:51	使える範囲的、このぐらいだったら、
0:26:54	全部データ 100 個ある。
0:26:57	ヘルツB。
0:26:59	低周波数。
0:27:01	心配じゃない。
0:27:07	物ですね。はい。かかると、採用する体制も含めてはい。そうすると、
0:27:13	もうブロックから一部外しちゃうとか、
0:27:18	2 ポツでやってないと、2 ポツで、この範囲しか信頼性がありません。
0:27:24	したときに、4 ポツに行ったときにはね。信頼性があるものとないものが混在してしまうので、だからおかしい。
0:27:35	なんかそういう見せ方、体制がある間だけのデータを載せた方が、2 ポツでちゃんと説明してくれば、
0:27:43	3 ポツには、信頼性があるのみとかさ。
0:27:48	それって言えばいいんじゃない。はい。
0:27:52	そういうことが技術的に、
0:28:00	スベン、
0:28:03	イデヒガシは別にデータ云々じゃなくて、資格近傍じゃないから使わないっていう。
0:28:12	それをわざわざ、
0:28:15	そういうことも、
0:28:21	はい。
0:28:23	はい当然、
0:28:25	そのエリアとかですね、それに
0:28:28	基づきましてですね少し使える範囲という、企業データにつきましてですね、伝える範囲っていうのをですね、確認してから、入れていて、それを使うっていう判断、これに限らず、他もそうなんですよ。
0:28:42	2 ポツってだから結構大事なんです。
0:28:49	今回、外挿したところとか、そういうところの信頼。
0:28:55	14、
0:28:57	それが丁寧さ。
0:29:01	だから、すぐみそも一緒に同じね、ターに入れちゃいけない。
0:29:11	そういうことです。はい。ありがとうございます。
0:29:19	とじポツにそれを入れるってことは、
0:29:23	前回、
0:29:24	説明不足分中、追加をし、それを先ほどの 1 ポツにも、
0:29:31	はい。
0:29:48	規制庁だけですから他、規制庁が、はい。一つ、2 ポツ、

0:29:53	或いはサンポフクマれて、
0:30:01	はい、はい。
0:30:03	サンポ通は 10、
0:30:05	どう、
0:30:10	最初にヤマジ四つあって、その上で表で伺い、
0:30:17	こういうデータを使います。
0:30:21	なんでこれが上がってるのっていう。
0:30:23	山根の二つ目に、
0:30:28	既往データに加え、
0:30:31	大枠では書いてあるんですけど、
0:30:38	その点で特に競争について、
0:30:41	埋め戻し、
0:30:42	家流動化処理とかって決め打ちになってるんですね。
0:30:46	額の説明にもなっている。
0:30:51	ここで言い切るとか、
0:30:53	或いは流動化処理増と埋め戻し両方あります。
0:30:57	というふうに挙げた上で、
0:30:59	3 ポツdす。エリアごとにどういう
0:31:04	状況とか、それを踏まえてどうやって、
0:31:10	ちょっと、
0:31:11	タケヤへの影響としては、どっちの、
0:31:13	物性の方がてくるような、
0:31:19	とか、その辺りの、
0:31:21	どこでどういう話を整理すべきなのかっていうのが見えないままいきなり ここで記入してますなんて、
0:31:33	ございます。
0:31:34	今おっしゃっていただいた 3 ポツのところの表の整理、
0:31:38	もう、
0:31:39	ここは確かに、我々の考え方が抜けてないっていうのは入った実績の 話だと。
0:31:49	動けた。
0:31:51	いや全部わからない。
0:31:54	確かに、
0:31:57	いや、
0:32:01	違う。
0:32:04	はい、ありがとう。

0:32:07	基本的に原則部に立ち返る。はい。うん。直下型は、その周辺のデータを使うってことなんですよ。そうすると当該エリアは、対して、流動化処理なり埋戻しなり、どっちが、
0:32:24	直下なり、周辺になる感じなんですか。うん。
0:32:28	ていう、すごいシンプル。
0:32:32	ただそれだけの。
0:32:34	近いからこれ使えない、この建屋の周りは流動化処理や施工したんで、そのデータあります。
0:32:44	単に夢を持ったんで、
0:32:46	データ使いますってそういうシンプルなはずなんで、はい。ただね、自分的にね 4 分の 1 がくっついていくとかっていう、なったときに、何か、
0:32:59	うん。単純に言うと、本当はそうやって欲しいんだけど、単純に言えば、今みたいな管理官の言われる、明らかにコウだけなんですけど、
0:33:09	或いは部分的には違うもので施工されてるのかっていうのを、3 ポツの表では示していただいて、
0:33:18	その上で、混在してるものについてどうするのかっていうのは 4 ポツ以降、
0:33:28	そのページとしてはどういう形だからどうっていう分析をする。
0:33:33	いうふうにしてもらうと、それぞれの特徴っていうのがちゃんと
0:33:38	明示的になりその上で扱いが
0:33:41	説明がついた上で、
0:33:44	いうことでいいかなと。
0:33:49	はい。おっしゃる通りで、ちょっとここが明らかにその混在していないからこう書いてるのか、そんなイセでも判断加えてこうなってるのかと。
0:34:00	みみたいなところが、
0:34:03	書いてないというのもあります。
0:34:05	直売効果分じゃなくて、ここのas-isはこうであるということ整理した上で、ちょっと混乱するけどもこうなんだということでは場所が分析に回すと。
0:34:14	理解いたしましたので、ちょっとそこちょっと終わります。
0:34:20	はい。
0:34:23	そうすると、ちょっと先に進んでますけど、28 ページの、
0:34:27	4 ポツつうの。
0:34:33	記載が、表層地盤を確認するだけなんですけど、
0:34:37	確認、確認するのはもうそもそも 3 ポツでやっていて、
0:34:41	その上で、



0:34:42	ブッセン混在してるのであれば、こういうふうなところで、
0:34:48	代表できるパターンとか、話をちゃんと分析すると。
0:34:53	いうことが必要ない。
0:35:03	当然設計のものでございますが、
0:35:06	今おっしゃっていただきたいと思います。
0:35:09	増加処理アノフタミ、書いてございますが、これ実際には
0:35:14	流動化処理、
0:35:16	周辺のため、周辺は、事案があるんでまた誘導箇所の中にも、購買部、
0:35:23	流動化商品、
0:35:25	そういうものに関してはこの次のアノ時に分析を、
0:35:29	詰めたもので大丈夫ですよというのは、
0:35:33	説明しておりますので、この段階ではですね、もう正直に、次天内流動化処理があるというような情報としては、
0:35:42	付け加えるというふうなことでした。
0:36:01	3 ポチ規制ちゃうわけですけど、オカさんたちの、
0:36:05	はい。
0:36:09	そうです。そう。
0:36:11	そうだとすると 16 ページの山根達名は、
0:36:17	愚直に上のものを、
0:36:20	入れてますっていうことなんでそんなに追求しなくてもいいかなという気には、
0:36:26	なりません。
0:36:27	何か
0:36:30	そのあたりの、
0:36:32	はい。
0:36:41	三つ目の矢羽根ではそれでいうと、二つ目の矢羽根では表現し切れていないから、セキをしたっていうこと。
0:36:52	のようですけど、これはあれですかね、当該グループの、
0:36:56	岩種分析結果はないんですけど、
0:37:00	他のエリアからでも、
0:37:02	バランスの
0:37:03	は、流用していきますっていう意味合い。どうもありがとうございます。ここはどちらかというとはですね、例えば単価、
0:37:11	岩種ごとのデータという形で、
0:37:14	それがどのエリアから取ってきた関係あるかというもづけを行った製品で、ショウガンセキネの回収がこれだから、この岩種のデータをここに入れますという構成、

0:37:27	そういうものですから、そこが読めるような形という意味でこうい
0:37:33	はい。わかりました。それと、この次の地監督記録も、
0:37:40	ミツイヒガシ中央だけであって、グループそれぞれにはとってないんだけ
	ど、離れていても、
0:37:48	記録についてはサンポ、
0:37:51	いうことで書かれた意見、おっしゃる通りです。はい。
0:37:55	これについては、その点で何か、
0:37:58	する必要はない。
0:38:07	それから、他何か思います。施工、施工のものによって、平均化してい
	るので、
0:38:13	使ってはいるんですけど、
0:38:17	前のところなのでちょっとその点で表現ぶりを整理した方がよければ、
0:38:24	はい、承知いたしました。
0:38:43	表の値戻しみたいなの。
0:38:47	もう1で、ある程度、
0:38:52	既往の施工管理、
0:38:57	このデータの取り扱いとちょっと、3ポツなりで、
0:39:02	先行して、そういうことなんで、
0:39:08	データ使えますよってというのは、さっきのあれ。
0:39:13	本来はそれを他のデータをこっちでやります。
0:39:16	ボックスでやっても、
0:39:18	うん。
0:39:21	本当は同じなんだけども、それはわかってるから、
0:39:27	ある種、特別にサンポつのも入れて、
0:39:31	そういう部分。
0:39:38	BtoBのため、
0:40:04	うん。
0:40:08	してしまうわけですからちょっとあの、
0:40:10	聞き漏らしちゃったんですけども、各グループの表層の条件について
	は、もう少し詳細な情報をサンポ値に入れる。はい。
0:40:20	ということですか。
0:40:23	横地には入れないんですか。あと、あと後なんですけど。いや、要は、3
	ポツで項目出しをしてきて、4ポツで、
0:40:32	それを取り上げた上で分析をし、分析をするというね、
0:40:37	今の4ポツの表層って、もう定型しか入ってないんだよとか、詳しく4本
	にも入るということで、

0:40:45	説明があります。はい。以上でございます。はい。私の理解でございますけど、今、着いたとき、サンポのところでは、この表の中に船舶というのが、ここの地盤での温風状況から、今as-isの蘇武横尾であると、いうことをここには書いて、
0:41:03	ものになってくるとさっきちょっと尾野さんからもお話ありましたけれども、そんなふうなところについての影響はこう見ますというのがあるということですよ。
0:41:13	はい規制庁アオヤマすいませんちょっと聞き漏らしました。はい、わかりました。
0:41:21	はい。
0:41:22	他に、3 ポツ、
0:41:25	なければ 4 ポツの期待と思いますが、
0:41:29	4 ポツで、
0:41:31	規制庁が確認事項ありますか。
0:41:43	24
0:41:46	1、
0:41:49	はい。
0:41:53	何がある。
0:42:00	はい、元のおかしいですこれ。
0:42:03	結論として 24 ページは複数グループ内で複数のデータがある場合、今回追加調査も実施してますのでどうぞ。
0:42:11	複数のデータがあることになるので、全グループに対してやることで 25 ページはそのうちそのグループの中の各建屋に着目して、断層、コマタがっているような建屋がある場合っていうところになりますので、それがちゃんと、はい、わかるように、
0:42:25	書くようにすることだと思いました。
0:42:30	24 はすべてやってやる。25 断層断層までのところはやらなきゃいけない。そうですね。だから今、
0:42:37	書いてないんですか。そうです。はい。そういう条件。
0:42:43	50、24 もやって 25 ってわけでもないんですけど、24 をやって 25 かなと思っています。ただ、ちょっと頭の整理でちょっと私、
0:42:56	大丈夫やってる件数と、25 でやってる検討は、お金もするんですけども、独立してるというふうに思ってます。
0:43:08	で、24 でやっている検討は、ここは、そのグループ内で、その複数のボーリング孔を平均化した物性で扱えるかどうかと。
0:43:21	ということの検討をやっていて、その地質状況からヒガシ扱いとなれば平均化しますけれども、平均化して扱えないときには、それを各々のその

	建物建っているところに応じた設計をする必要がありますグループ内であっても、
0:43:36	いうことを予定で 25 日までは、
0:43:40	24 て、これ変更ができないって判断する。
0:43:44	ケースはあるんでしょうか。
0:43:46	それはあります。
0:43:48	それがですね、山根のですね、一番下の感染における技術検査データが同じ規格であると判断できない場合は、各施設、個別に分析をセキズここがそれをするところでございます。
0:44:02	実際ですね、次、結論から言いますと地域の小学校の辺りやってます。
0:44:13	上記
0:44:18	ここではすいません確かに繋がりがわかりにくいですけど、一番上の矢羽根と、その下にぶら下がってる二つのポチ、
0:44:26	です。
0:44:34	はい。どうかな。
0:44:36	これはちょっと、
0:44:38	いうのは、
0:44:42	25 はその話じゃないんで、その後は、それとはまたちょっと別の話をして、ここの建物に着目したときに、そうですね。直下に断層が、
0:44:55	ある場合の扱いもこれは入ってるっていう。
0:45:01	文字。
0:45:03	ここで 1.84 ですけども、他のタケヤでも直下に断層があるけれどもそれが影響あるやなしやというのは全くないところでも令和でございます検討してるものがございます。
0:45:16	日本の関係がよくわからない。
0:45:19	日本って 24 が見えてますが、
0:45:23	それで終わりの気もするんですけど、
0:45:26	そうではなくて、
0:45:27	24 ページは 17 思いつつまた 25 ページの、
0:45:33	作業も修復してやる。
0:45:39	だから 24 の作業 25 の作業は、
0:45:42	見てるものが違うというのが、端的な答えになると思います。
0:45:48	フローでこうやって、
0:45:51	今、神尾さんの質問は 20、24 ではじかれたら、
0:45:55	まだ 25 やる必要があるんですかという、
0:46:01	24.8 借りようと聞かれまして、後はやる必要があるということ。

0:46:05	結論としてそうなってるのはわかって、何でそうしなきゃいけないんですか。
0:46:10	はい。原燃のオガセですけども、25 ページの右側の図を見ていただければ、
0:46:16	けれども、G14 断層が近くにあるので、この建屋の中で一つの建屋の中で一つの物性として扱えるかどうかというところに、断層の整理パート、
0:46:25	がありますので、さっきはあくまでグループの中で、実質が一緒だったら、一緒にしていいですよと思いますけれども、やっぱりそれを見た上でも、建屋の直下に着目してもっとマイクロな領域でもうちょいちゃんと深掘りしてそこで一つの物として扱えるかっていう検討はまた別に行う必要がありますので、
0:46:42	ここはやっぱりこの何ですかね、独立で出てくる話なのかなと思います。
0:46:54	玉田。
0:46:55	書かないと、まずはグループ単位。
0:46:58	していますっていう話をやるその上で、
0:47:02	どうあっても、
0:47:04	提案。
0:47:07	無線の断層もあるかないか、もう見て、全部それはやった上では、
0:47:14	失礼しますよっていうふうにしないと。
0:47:18	はい。玄美馬先生、拝承です。おっしゃる通りで、さっき私が言った通り着目点がグループエリアなのかそのグループ単位とか、建屋の直下の中でのマイクロの範囲なのかという二つの着眼点があってっていうところが、まず、
0:47:31	目的が違うところがあるので、それをちゃんと多分 23 ページのポツのところの表でも書くべきです。
0:47:37	何かフローにするのがいいのかちょっとわかるんですけど、24 ページの頭とか、はい。書いてあげると、わかりやすく、
0:47:57	で、
0:47:58	今のうちの次 14 を例示な形で書いてますけど、
0:48:03	それはその代表であって他のところもちょっと戻してって言われてたやつは、
0:48:11	どういうふうに表現されてる。
0:48:15	第 1 回で、
0:48:53	うん。
0:49:00	一番ですね。
0:49:02	0

0:49:04	問題、
0:49:06	マネジャー。
0:49:18	すいません、日本。うん。日本原燃のオガセすみません、Fでと言われたやさきに申し上げます。ちょっと他の建屋の 76 ページをちょっとご覧いただきます。
0:49:36	はい。ジンノ以外でも、同じような断層の影響ということで、地震、先ほど示したのと同じような検討をやっておりまして、最終的に影響ありそうな時 14 でしたけども、こういうデイ・シイグループとかはやったところで全然、
0:49:49	真ん中に速度構造図ありますけれども、断層を考慮しても全然この紫の間という数、
0:49:55	紫の関係は速度も変わりませんので、ずっと本当に影響あるようなものではないというようなそういうような定義になっておりますので、繰り返しになりますが自由度はそれで影響があるっていうふうに差異が落ちるということになってますので、
0:50:06	コサク 3 期にされてましたFなんですけど、ちょっと 39 ページをちょっとご覧いただければと思います。これちょっと、
0:50:12	すいません資料のつくりもあんまり、
0:50:14	少なかったかもしれないんですが、39 ページの二つ目の矢羽根でございますけれども、こちらアノ断層の影響というところは実はすいません、やっておりまして、それが二つ目の矢羽根のところに、
0:50:25	というところがございます。ただ、今ちょっと日本語でしか書いておりません。このアノFの中で一番コウニシカワにいるFCってやつがあるんですがそこについても同じような検討はやってございます。
0:50:36	示しています。ただ、申し訳ありませんちょっと今回、別紙ついて、いわゆるノンクラスというか、波及影響が施設しているところもありまして、今回すいません安重系の中じゃないな、耐震重要施設か。
0:50:49	のものぐらいでとどう細かいデータまで書いていくっていうのはちょっと会合資料上、非常に煩雑になるなと思ひましてちょっと省略をしまして、08 には書いてるんですがちょっと会合資料上は抜けたところでございます。ただ、
0:51:02	そういう、家中をつけてるっていう考えはあるんですが、今、こういうご指摘をいただくと、付けた方がいいのかな。
0:51:14	はい。同じ。はい。ちょっと、ちょっと資料作り、
0:51:21	いずれもある。
0:51:23	単純に、普通、紫と青本ここは、これちょっとがんと左右差が

0:51:34	の断層がちょっとずれてるぐらいだったらそもそも、今言ったように、そんなに速度違いはないねっていうのは、ウタところに見えるんで、わかりやすいんですけど。
0:51:45	西来ヒガシらのデータがちょっと見えないから、その点でここどうなってるのっていう、ぱっとわからないですよというような通知いたしました。
0:51:58	そうですね。
0:52:01	ちょっと、
0:52:16	配布を明日、
0:52:33	選定性です。
0:52:41	26 ページ。
0:52:51	これはだから、
0:52:53	ステップをして、
0:52:55	大小関係で、
0:52:58	どうぞ。
0:53:00	いう結論になった。
0:53:08	微妙となっています。
0:53:10	はい。原燃の和気ですけどそれがですね、ZとG14 の二つで、
0:53:15	になっておまして、
0:53:17	ページでいきますと 125 ページがいいです。
0:53:25	36 ページが次、
0:53:28	はい。
0:53:30	で、もう、こちらも結構似てるとは十分思っては、五つなんですけど、一次固有周期よりも短いところを見てもみますとたまたまこの一次周期のところ、
0:53:40	はい。線形状態のところはちょっと大きく、
0:53:44	オカダと次 14 のところで、概ねとちょっと行くかもしれないけど預かりではありますが差が生じる、他のグループに比べればほとんど他のグループが千賀喜多とか育てるに対して、ちょっとぼやっとう、
0:53:56	なんすかね出っこみ引っ込みがある程度の差はあるところありますので、これが小村の二つについては、
0:54:02	影響なしとは言い切らんというようなところの結論。
0:54:08	依然となるかもしれない。
0:54:14	日本原燃のオガセですけど、これ、実は我々も最初、これはもういいでしょうというふうなところで思って、影響なしというふうにしておりましたけれども、ご指摘もありましてここに保有周期がちょっと超えているところで、

0:54:27	もありましたが、ありまして、我々もここが本当に影響がないっていうのを何かしら定量的に、
0:54:33	もう明確な判断として影響ありませんと言っているのも、ちょっとやっぱりその根拠もなかったものですので、ちょっと厳しいのが実態。
0:54:43	いや、
0:54:48	売れないノモトという感じで、まあこんなもんですよねっていうところだと、はい。
0:54:58	品質の、
0:54:59	別の話。
0:55:09	70 ページ、これはですね。
0:55:12	末広。
0:55:14	はい。言ってないんですよ。はい。
0:55:20	判断基準っていうか、何だろう。
0:55:24	どれぐらいの差はありますよっていうのはちゃんとご意見送っちゃうんだと思うんですけど。おっしゃる通りです。ここの視点系の話、125 ページとかでお示したのも、
0:55:34	これぐらいの差があることは覚えておいて再度設計上の例えば保守性みたいなところで、どうにか何か、
0:55:41	改めて思い出すみたいなさういような話になるかと思しますので、はい。
0:55:46	基本的にそのDCのところさっきの 76 と同じような、一部とか、
0:55:52	オハマ、
0:55:53	BCを本スペックだというか、どう判断した。
0:55:58	はい。これの一番下のポチをちょっとご覧いただければなんですけれども、
0:56:02	断層の影響っていうところ。
0:56:05	あれの一番上の矢羽根がいいです。すいません。ここの 2 行目の最高ステップの新築については、ハタが生じることを踏まえ、設計に用いる地盤モデル、
0:56:17	しか構造モデルを作った後に、設計上の配慮事項の点を考慮するところにおいてはこの進捗の差に留意した設定を行うということで、まさしくさっき蟹江さんが覚えておきますって言ったのと、まさに増員の言葉、
0:56:30	だから多分これと同じことを、125 ページとかにかけた。
0:56:34	えっと思いました。
0:56:46	選定せん。
0:57:32	右下の図は周期フェーズ 2、
0:57:39	はい。



0:57:43	やっぱり言われたんです。
0:57:44	どっちがS波検層のデータなのか、ちょっと線センナのか0なのかっていうのが、
0:57:50	1本、
0:57:52	要は、
0:57:55	半分の34.0%と三田市でそういう部分、
0:57:59	はい。
0:58:01	なるほど。はい。まずその判例があった上で、井戸では、その効果をわかるようにしてるカネコちょっと充実しています。
0:58:15	先方の黒坂です。なんかそんなもん。
0:58:20	はい。別にどっちに、例えばその2006名とか、1994なんかはどっちに似てる方がいいと。
0:58:28	日本原燃忘れそういうのがまさになくて、あくまで違う知見を色分けしただけなので、あくまで類似点のものを見るという意味では、意味は変わらないものなので、
0:58:39	特に色を分ける必要はないと思いますので、クドウが多分いいかなと思っております。はい。
0:58:50	幼稚権力を請求する福生
0:58:54	坂野。
0:58:56	はい。
0:58:59	光野ハバノ吉良の幅、
0:59:02	オレンジと緑の線をバンドウないという意味合いです。
0:59:07	日本原燃小野瀬
0:59:09	立石っていう、おっしゃ日本原燃オガセおっしゃる通り縦軸です。
0:59:19	日本原燃オガセですけどもはい。こちらにつきましてやっぱり各地点で獲られたデータというところで各地点の特徴がどうなってるかっていうところは、分析をしたらと思うんですけども、
0:59:30	何かしらこうリファアするものがないと。
0:59:32	グループの中で、これぐらいの、今このまさに34ページだと二つのデータ取ってますが、それがちょっとおっきいのとちょっと小さいオレンジと二つあるんですが、どっちが、
0:59:43	それらしいのかっていうところっていうのは何かしらやっぱりリファアするものがないと分析しにくいので、こういった、
0:59:49	既往知見との比較を行って、その幅から大きく外れるデータになっているかどうかという観点で一分析をすること。はい。そうですね。外れなかったわけなんです。うん。
1:00:00	知見と。うん。うん。

1:00:03	2番にてると言いたかったおっしゃる通りです。はい。
1:00:07	ちょっとこの表現でわかりにくい。編成にかかるね。
1:00:11	そうですね。日本原燃おかしいです私の文章は壊れなかったですね。はい。はい。類似点における減衰定数とどう、例えば同等の与えられているかというぐらいの方が、ちょっとはいはい。
1:00:25	これくり回せるかという。
1:00:27	表現ちょっと見直しましょう。はい。表現でした。
1:00:34	はい。
1:00:36	伊佐パートナー。
1:00:40	イノウエ区間を限定すると、
1:00:44	資本。
1:00:47	センミョウカセというか、ちょっとそれ、ロボツツロボット、
1:00:52	の話でちょっとなるんですが、YouTube限定しているところは4ポツでないんです
1:01:03	はい。はい。はい。89ページ、ここだけ見ると、
1:01:13	そうですね、今すみません89ページでは、
1:01:18	そこまで書いてないというか既往知見との比較の観点でしか見てない。
1:01:25	なかったです。ちょっとその話は今、
1:01:30	グループ間の傾向分析のときにちょっと入れているところでありました。具体的に言うとすみません150ページだったわけです。
1:01:41	すみませんポポツをちょっと1回、
1:01:48	やっぱりこういう山谷があるかとかってというのは、当然西だけじゃなくて中央とかヒガシなんかも同じように見る必要があると思っておりまして、そういったグループ間ってというようなところで、同じような傾向が見られるかっていう。
1:02:01	ので、観点でそういう分析をしようと思いました。なのでちょっとこちらの5ポツでグループ化をまとめるフェーズでやったんですが150ページに、
1:02:10	すみません。はい。
1:02:12	おっしゃってもらって、例えば37ページです。データっていうところとして、経済危機感を、これ色分けしてるんだけど、それを34ページのこの資産、
1:02:24	普通の段階でその色分けがコマタ抜けてるのって何かあれ。
1:02:28	やってる。
1:02:29	この関係にもちゃんとあったらいいのかな。
1:02:34	ここコウとかってアノコウコウハシバでしょ。はい。だけど、これはSReHについて分析だから、

1:02:40	ニワ、ここ、それさ検層のアノシライ区間で、これは傾向分析をしてるんだったらいいんじゃないかっていうのは私もそう思ったんですけども。
1:02:58	はい。
1:03:00	はい。
1:03:02	はい。
1:03:04	はい、150。
1:03:05	ページ 150。
1:03:08	92 ページ目サノなんか、
1:03:11	はい。現状、これ周期をこちらの分析の着目点として、分析とかデータの整理の着目点として、
1:03:20	はい、そうです周期がいわゆる既往知見に示される周期のみを書いて、
1:03:27	はい。
1:03:34	知ってる。
1:03:41	幼稚園がないから、
1:03:43	はい、現状オガセおっしゃる通りです既往知見がないから、
1:03:46	ちょっとそれだったら、普通に
1:03:50	グラフの幅はちゃんと、
1:03:52	エディションとれてるんだから、左がちゃんと広げた上で、
1:03:57	企業知見線はそこで切っちゃうと、それが普通ですね、日本原燃おかしいです。
1:04:03	ですね。はい。そういうふうにさせていただきます。
1:04:16	その上で、
1:04:20	1 信頼区間が限定されて、ちょっと資料に触れない。
1:04:25	もう半分
1:04:26	はい。はい。すいません。それが先ほどはい。ちょっと先取りしてしまったところでございました。信頼区間といいますと変に山谷が出ていたり、周波数特性がおかしく出ていたりとか、そういった
1:04:39	ところが何かしらの信頼性の基準に応じて出ているというようなところの分析になるんですが、そういう分析でやっぱり細々した 1 個 1 個のデータを見ても、それがぐれ回りなのか全体的な傾向なのかっていうところがやっぱりわからないので、
1:04:54	こういうところものにつきましては同じような地盤のところ、重ねてみてそれらでも共通的なそういうヤマダみたいなものがあるならば、これっていうのはちょっと信頼性が悪いねとかそういうような判断をする情報ですね、最初の方に。
1:05:08	150 ページにあるような、企業知見のものってサンポつところ。

1:05:14	オオツカイデてるじゃんって話しました。そう。そう。
1:05:17	4 ポツ 3。
1:05:20	しますってなると、結局 4 ぽつで重ね書かれて、うん。そのときに、あれってない。
1:05:28	そう。ちょっとすいません既往データの話の処理がすいません、2 ポツ II ないし 3 ポツで、
1:05:36	消えるかどうかによってちょっと変わる話ではあるんですけども、
1:05:41	そうですねすいません。上出さんのおっしゃる通りで、サンポ II のところでちゃんと既往データも加わるとすれば、加わるとしたとしても、4 ポツで、
1:05:50	ちゃんとその移設周辺グループのデータとして、既往データと並ぶことになってその共通的な傾向というのは見えるので、
1:05:58	4 ポツの 7、先ほどの 89 ページのところでそういった、
1:06:02	どういう所傾向にあるかっていうようなところは、書けるようになるかと。
1:06:08	ます。
1:06:10	はい。
1:06:13	社長おっしゃったようにポツ 3 のところで、この信頼性の話もしてしまうので、
1:06:22	どうぞ。はい。
1:06:24	そうか。
1:06:27	面白いちゃって、
1:06:29	シライますか。
1:06:35	いない。
1:06:40	します。
1:06:41	そういう、
1:06:46	はい。かしこまりました。
1:06:50	すいません結論は 4 ポツでは井清です。
1:06:52	します。
1:07:23	です。はい。
1:07:26	でございます。オカノイトウアベササキヤマナカで撮ったデータが、どうだということを、その生を今度には、
1:07:35	この分析するところだと思うので、
1:07:37	これが教授の生のデータがいいかと。
1:07:42	はい。スポーツの信頼性で信頼があるって言ったんでしょうかね。はい。
1:07:47	何なんです。
1:07:50	対象内。
1:07:55	でしょ。

1:07:57	情報はちゃんと取ったから。
1:08:00	企画がいらぬ。鮎沢ニシノできなくなってます。うん。だから、信頼できるんだから。そうだよ。いや、だからね、多分そういうことではないんだよ。うん。
1:08:10	多分ねここで使いたいのは、
1:08:13	ここじゃないんだよ。うん。うん。同じ6名で、
1:08:17	AとDだが、このデータっていうのは、既往の知見と大体同じようなラインを使っていますよっていうだけなんだよ。
1:08:26	だから、総合的なDの整理のときに、
1:08:31	既往の知見等に大体内部的に載ってるからそれはおかしくないですよって言うんだけど、データの信頼性とは別なんですね。はい。そうですね。はい。
1:08:41	ネットセンターが、やり方がいいとかっていう話と、とれたデータはあるんです。
1:08:50	いろんな研究者がやったやつと、
1:08:53	結構類似してまっすってだけだとすると、これ後で、
1:08:56	後でもいいし、605とか6でC5を使うと、そういう時に持ってきても話を使うときに、いうそういうことなんじゃないでしょう。今年は先生まさしく今、
1:09:08	可児がおっしゃった通りで今170ページの6ポツのところ、まさにそれをやっておりますとかそういうところだから、そうですね、6ポツでやっているのだから4ポツでわざわざ個別にやる必要は確かにない、何か。
1:09:22	タナベ、清リーダから説明が出てきたでしょ。はい。
1:09:27	何かロジックがずれてんじゃないか。はい。うん。はい。
1:09:33	単にここはとれたデータ信頼あるデータを、
1:09:37	並べました。以上。はい。確かに、あんまり余計なことしないほうがいい。はい。
1:09:48	地震観測ところだけは、
1:09:51	それが主になる。
1:09:54	VTぐらいになるし、
1:10:00	リング者
1:10:01	これね。
1:10:09	えっと、確認です規制庁ワダですそうするとき、例えば、の一番最初の34ページに下の図は、
1:10:16	37ページの、
1:10:18	右上のC-5と同じ図が入り込まれるんですか。日本原燃、加瀬さんのおっしゃる通り、

1:10:25	はい。来ていただきます。その際に、
1:10:28	既設のよさ元素の結果は、
1:10:31	すいません 2 ポツ 3 ポツでの信頼性のところ次第でありますし、信頼できないというのが上流で切れるのであればここには載らないだと思います。はい、規制庁です。
1:10:41	はい。以下、修正してください。
1:10:45	はい。現状、
1:10:51	あ、どうぞ。
1:10:52	まずうでちょっと戻ってもらって例えば 32 ページで、
1:11:01	コウの設置岩盤あるでしょ。
1:11:04	まず岩石コア試験結果っていうのが、横 1 本になるじゃないかと多分、泉。
1:11:12	マツオとかさ、そういうね。
1:11:15	ないんだよね。はい。話このレベルにあるっていうだけなんですけど。
1:11:19	岩石講師研究官に参画地主で、このラインですね。
1:11:24	あれ。
1:11:25	矢印なり三角、そういうことなんじゃないか。
1:11:31	意味がわかんなかったら、こっちがそこにね、そういうふうにして、そういう話なんですかっていう、まずね。はい。
1:11:42	これは全然おかしいです意味合い的には正木さん。はい。
1:11:48	それと、今横井にね、実線から訂正にあるけど、こいつは下のやつに対して、
1:11:57	だから、
1:11:58	もしやるんだったら、赤と。
1:12:01	青。
1:12:02	まあ、
1:12:06	でもね、これでも実はダテセキコガ試験の
1:12:10	話だけだから、この線は要らないんですね。
1:12:14	わかる。
1:12:17	ということになるんですね、レポートさそうするとね。
1:12:21	これがまたね、
1:12:24	最初に言った方は、
1:12:27	37。はい。
1:12:29	37 も、
1:12:33	結局、こういうふうな、
1:12:35	さっきの非線形ラインだとかそんなものは消えてるわけだよね。

1:12:39	ここはね。これ全部そうだよ。これ多分同じようなのがまずいっぱいありますと、今、みんなが 37 ページですかね。
1:12:49	で、この信頼区間外または信頼区間外に対する外挿は書いてありません。
1:12:56	ていうのでまず、1 海田 C5 の Sier 件数は、そもそもここしかデータに信頼性もメートルもないじゃないですか。そうでもないんですね、何もありませんから。
1:13:08	データだけ載せればよいよね。
1:13:11	地震反射障害イシイですよ。
1:13:14	ね。そうするとそれがね、関係するのは地震観測記録を用いた同定だけなんだよね。そうするとこれどっちなんですかっていう。
1:13:26	ガイソウなの。
1:13:28	江藤信頼区間等で開発をしている、外装なんでしょうね信頼区間外に対するガイソウ範囲っていうことが難しく、多分信頼区間に対する対象なんです。
1:13:46	で結果的に信頼感が 1 という、
1:13:49	ないんだよ。はい。
1:13:55	基づく外挿。
1:13:58	これで、
1:14:01	たくさんあるからそうです。
1:14:03	では、
1:14:08	いや、
1:14:10	ウダ C さんはだからもう、八分に対する何でもはっきりわかって、この判例を適正な言葉に直して、衛藤 CEO と CFO はこれ、さっき言ってること。
1:14:22	ないので、これはもうここですよ。
1:14:26	データはないんだよ。
1:14:33	ただそれだけ。
1:14:43	これだから全部、
1:14:46	のシミュレーションのところに行くところだから、
1:14:49	この辺も間違いない。
1:14:51	ね。
1:14:52	はい。例えば 42 ページとかのところでのアノは、さっきのオレンジの意味の言葉が変わって 3 ページとかですね、両方とも変わるわけ。
1:15:01	一般の中で同じように、
1:15:03	麻生。
1:15:07	そういうことですね。

1:15:14	今、
1:15:27	そうですね。いいですか。はい。
1:15:30	規制庁浜崎です。4 ポツで、福谷市長の方から、
1:15:35	見せ方の話。
1:15:36	うん。
1:15:40	うん。
1:15:44	うん。
1:15:47	はい。
1:15:51	はい。はい。日本原燃オガセで申し訳ありません。ちょっと、はい。横並び取りきれてませんでした。
1:15:59	そうですね。
1:16:02	うちが終わります。
1:16:20	28 ページの団体が明らかにします。
1:16:23	速度構造としては 24 とか、
1:16:27	全部とか、
1:16:30	D、
1:16:32	減衰は 15 ヒガシ、
1:16:36	して、
1:16:37	提案です。
1:16:42	はい。日本原燃のオガセですおっしゃる通り、疑念は当然持っておりましたので、まさしくポツのどこまでグループを合体できますか、議論のところで、企業知見に基づく速度の相関性とかとの対応。
1:16:54	見てみますと、既往知見で、いわゆるG14 のところの速度体と他のところの東側地盤の速度対っていうところは、減衰が全然変わるような、
1:17:05	隆起じゃないんですねというところを、確認しておりますその後、6 ポツ下のポツでやっているという報告ですね、グループ間の統一なので、はい。のところでやってございますのでそこの説明で回収しているつもりで、
1:17:17	おります。
1:17:20	交通でできる。
1:17:22	6 ポツまで。
1:17:24	笑えるっていうのはちょっと、
1:17:27	こっちで示すんだったらそういう。
1:17:30	構成ですよみたいな。
1:17:36	こういふことで、そういうところはまたちゃんと、
1:17:40	しますけど、とりあえず今は、
1:17:43	要は、



1:17:44	直径を、多くの場所、
1:17:50	皆さんエリアごとしてというのがベースになって、
1:17:54	まず、
1:17:55	はい。
1:17:58	全体に適用できるかどうかというのはまた、
1:18:05	要は、
1:18:07	はい。日本原燃、まずよくわかりました 4 ポツの冒頭の、
1:18:12	はい。減衰のところ、
1:18:16	ちょっと私今、
1:18:19	以上で、ここの整理、今おっしゃっていただいたような整理をカせていけないという事態を私は、
1:18:26	28 ページの C3 とか C4 のところで、
1:18:32	地震観測なんかは中央西が行かないんだけど、
1:18:37	あまり仮定を置いてババ錘をしますみたいな感じを、
1:18:42	はいすいません失礼いたしました。28 ページのところは、そういう位置付けで後でそういうのは回収しますよ、図面を書くみたいな。
1:18:49	はい、わかりました。
1:18:51	はい。
1:18:52	豊岡さん、さん。
1:18:54	もうその話しちゃってるんです。確かにそうですね。おっしゃる通りで、データばらまきのときに、うん、そうですね、あの中をどこまでばらまくかというのは、ある意味勝手に決めているところなので、
1:19:07	そのアベに勝手に決めた中オオニシヒガシっていうところは、その地下構造の差とか、他手法で出てきた減衰の差分とかみたいなのを踏まえて、5 ポツで回収しますみたいなところ、そうですね、16 ページの、
1:19:20	衛藤。
1:19:21	さ、次最後の矢羽根のところですかね、のところにそういうことを書いてあげる必要があるのかと思いますした。
1:19:28	要は、16 で説明をしているから、
1:19:33	審判そっブロックを使う、これについては、そういうふうになります。
1:19:38	はい。
1:19:40	なんか 4 ポツはその整理。
1:19:43	はい。
1:19:44	僕のところで回収があるのであれば、
1:19:48	そんなに
1:19:50	そう。
1:19:52	はい。

1:19:54	はい。元にオガセサノニワカミデさんがおっしゃったご認識の通りの構成にしております。
1:20:04	訂正について私は、
1:20:07	規制庁側の一つ。
1:20:11	はい。
1:20:13	あとは表層ですけれども、今日最初お話しました。
1:20:19	はい。
1:20:21	理想はですね。
1:20:27	アシダの基線を、
1:20:30	治りはすると思うんですけど、あんまり、
1:20:40	まず、
1:20:43	どうぞ、八代こういうことはまず、
1:20:46	でした。
1:20:47	何でそうそう。
1:20:52	という、
1:20:58	はい、施設ハマダです。兵頭については先ほど言いました各グループごとの特性をもししたいということで、
1:21:07	あります。
1:21:09	他によ、どちらの方でなければ、ちょっと冒頭に、はい。
1:21:14	いいですか。
1:21:19	はい。伊勢澤邊です。5ポツについて、規制庁側から確認事項ということで、
1:21:26	規制庁のハセガワですけど、細かい話に入る前に、
1:21:30	その差ロジックが、
1:21:33	毎回おかしいなど。
1:21:37	注文なんだよ。
1:21:41	なんでまとめ、
1:21:45	はい。はい。
1:21:47	なんでも。
1:21:48	はい。なんでまとめるかと言いますと、実際まずデータ分析してみて、を確認して、おんなじものだとすればあれです同じものだったらデータのそれらを、
1:21:58	統合することで母集団が増えることになりますんで、1個の
1:22:02	1種類の看板に対してのデータの募集が増えて信頼性が上がる、そういう
1:22:06	信頼性が上がるから、まとめるとして、
1:22:10	いや、それは最初からやれば、

1:22:15	ただ、一緒にできないものを一緒にしちゃいかんので、一緒にできるのが取れたのかということを探しに行くというのが、この断面なのかなというふうに思います。後、
1:22:25	はい。
1:22:27	あそのロジックがおかしい。はい。まず、
1:22:30	原則、毎回言ってるんだけど、
1:22:33	12の個別でやりますっていう。
1:22:39	でしょ。
1:22:40	そこの原則は、これでいいんだよ。通常、やりゃいいんだけど、12個データが出てきて、よく見ると、
1:22:50	データがほとんど一緒じゃないっていうところから始まってんじゃないの。そう。そう。だからそこから始まってないんだよ。まとめようとしちゃってたんだよ。うん。
1:23:00	まとめなくてもいいんだよ。そう。そう。そう。
1:23:03	わかる。だから、一緒なんだね。
1:23:05	データみたいな、類似してると。うん。
1:23:08	だから、類似してるってどのぐらい類似してるかなって見たらね、結構、
1:23:14	コマ、
1:23:15	もうなんか、何%ぐらいの範囲ぐらいで類似してると、なんで類似してるのかな。
1:23:21	ね。
1:23:24	たまたまなんだなあと。
1:23:27	いう。
1:23:28	いろいろ見てったら、
1:23:31	全部一緒じゃん。
1:23:35	ね。
1:23:36	だから一緒になるんだよ。ねってそれは当たり前だよ。なるほど。
1:23:42	以上なんで、本来ね、全部ないな。
1:23:46	そういうふうにちゃんと根拠があるんだったら、データって多いほうが、その信頼性が上がるよねと、原則から外れるんだけど、
1:23:58	そういうことをしましょう、しようかなあ。
1:24:03	だけね。
1:24:07	でね。
1:24:08	そこがだから今のロジックと違う。
1:24:13	結果は一緒かもしれないね。
1:24:16	ロジックっていうのは、常にこれ10gの個別が原則論になってる。
1:24:21	でそれが顕著に表れてるのが、東川さん。

1:24:25	最初っからデータを全部ひとまとめにして、こいつはね。一緒だと、違うとかってやってあれがだからね、ロジックが違うが顕著に現れて、
1:24:38	似てるやつだけ集めるのにナカマ外れたらもう最初から入っちゃって、うん。
1:24:43	ううん。
1:24:45	わかります。ナカマ章は最初から入れまして、
1:24:51	イメージ。
1:24:52	イメージはわかりました。わかりました。140 だからさ、最初からまずそこがすべて、
1:25:00	ここの入口を間違えると違うかもしれない。実質ちゃったらそれはなかったんだよね。
1:25:10	そうすると断層がちょっとでも走ってたら、ええと、もうナカマはずです。
1:25:19	例えば地下構造、断層を切って、
1:25:22	データ一緒だけでも、
1:25:25	こっちは断層。
1:25:26	聞いてないじゃんって言った時点でそいつらがぽんとなくなっちゃってんだよね。
1:25:31	いやそそこまで頑張ろうとする。
1:25:37	頑張ればいいよ。だから、どれだけすごいシンプルに説明していくんだったら、
1:25:42	そういうシンプルさがあるんですと。
1:25:45	だからまずデータは一緒ぐらいで、
1:25:48	1割ぐらいの範囲だよな。
1:25:51	うんつって、何ていうかな、単に見たらなんかほぼ一緒じゃん。
1:25:56	多分それだけじゃない。はい。
1:26:01	違う。それがだからね。
1:26:04	順番的に説明の順番ももう地下構造が最初に出てるでしょ。
1:26:12	それは理由なんだよね。はい。はい。
1:26:17	全体はあくまでVsの結果なんだよね。うん。それはいろいろ見たら、類似してて、このぐらい類似してると。
1:26:25	ブロックした分だけ類似してると。何でかなっていったらそれが地下構造の分析なんでしょうね。
1:26:34	そういう根拠があると、データがまとまっていいから、
1:26:38	そういうふうになりましたっていう、そういうたら全然違うでしょ。
1:26:44	はい。はい。ありがとうございます。おっしゃる通り、それは今、Vsだけじゃなくて、S波検層も全部ね、やろうとしてるところはすべて同じなんですよ。

1:26:55	ご存知なんじゃないですか。
1:26:58	後々だからいろいろ困っちゃう。
1:27:07	規制庁です。そういう意味でですね 144 ページの、
1:27:11	上から三つ目の矢羽根で、
1:27:13	大局的地盤構造が類似している東西中央っていうこの団体で、
1:27:19	もう入っちゃってんですよ。分けちゃってる。
1:27:21	で、本来やっぱりこれ、今まで言ってきたんですけど、まず 12 グループの中の隣り合ったものが、同じ、同じっていうのは何が同じかっていうと、V sであったり資源清掃であったり、減衰であったり、
1:27:32	岩種であったりね、減衰だって、
1:27:35	いろんな種類があると。
1:27:36	そういったものを、ここのグループで比較して、類似と判断できるから、このグループとグループは 1 とみなすという
1:27:44	そういうステップがあるべきだと思います。
1:27:47	今、いきなりもう当然中央なっちゃってる。
1:27:52	ので、ちょっとボポツに関してはですね、構成なり、
1:27:57	ちょっと
1:27:59	組みかえが必要になってます。
1:28:02	で、ただそれが全体的にいえることかなと。
1:28:06	ここが全部すると、次、
1:28:12	北田です。ましてや、今回の資料 146 ページも、最後のところ、以上のことからもう中央グループは同一にしますみたいな結論書いちゃってますよね。
1:28:23	その下に次回応答スペクトル確認しますって書いてある。
1:28:27	オートスペクトル見てからこれ結論話すんじゃないですか。そう。そうですね。はい。
1:28:32	理由。
1:28:45	はいつも言うけんね。
1:28:49	にそういう。
1:28:50	我々が言った一部だけを切り取って、
1:28:54	いや、
1:28:55	悪いことっていうか、連絡してると思ってないんだよね。
1:29:05	変なことしてるつもりはなくて言われた通りやってるつもりでは、そうなんです。
1:29:10	でも言ったことの一部だけやったんです。
1:29:19	これステイリングチームがそういうところをちゃんと理解、
1:29:24	ロジック。

1:29:26	はい。
1:29:28	確かにそう。
1:29:30	西来オオヒガシの中でやるっていうような頭を、
1:29:35	やってるのか、そこら辺はちょっと変わるんですねそれも各論の一つなんですよ。はい。大局的な頭の中がもうちょっと違ってるように、
1:29:46	シンプルなロジックとか、
1:29:48	原則論っていうね。
1:29:51	原則、持ち帰って、
1:29:53	今までやんなくていい。
1:29:58	おっしゃる通りのなんで、原則論に立ち返ってやるとすると、データ並べました。以上2点のやつはこれですね、20、21、
1:30:11	でそこを入れていただきました。
1:30:17	12ヶ所のデータを12月で終わりでも気づい
1:30:22	はい。
1:30:23	で、それに倣ってみたところ、
1:30:27	どうも似てるのはあるみたいな、はい。
1:30:33	てるけど、何でなんだろうなって言って、ボポツは原燃がオリジナルにエビナ。
1:30:42	だから、イレギュラーができるようにしておかないと。
1:30:55	だから、
1:30:58	10分かったんですよ。
1:31:01	わかってないんだけど、多分わかってない、えっとですね、おそらくおっしゃってることを、私なんかはCで言ったじゃん。
1:31:12	ね、最初っから仲間外れに入ってる。はい。
1:31:16	なんで仲間外れに入るんですかっていうところに、同じものを、確かにね、違うものまで、視界に入ってるんで、
1:31:25	データを見たときに、おんなじに見えた。
1:31:29	藤クラベ美馬イシイ江田から何で比べる。
1:31:34	比べるのではない。
1:31:35	比べるんじゃない。はい。並びに視覚的に、
1:31:40	ね。一緒だって言うてるっていうだけだよ。
1:31:45	と並べ並べました、丸で、
1:31:48	これを見たところ、発足率は似てますねってもう見てないところも話するんじゃないっていうそういうそういうことなんだと私は理解したんですけども、違うでしょ。
1:31:59	今違う。だからそこなのよ。そこが。うん。
1:32:05	いや、いいよね。

1:32:08	野元さんは一緒に見えるね。
1:32:12	ここだけに見えるという、思って、そうじゃないヤノヒガシイナズマヒガシだけでいいですよ。
1:32:18	続けますか。私は、理解しました言ってること理解しましたね。なるほど。いや、そんなことわかってると思う。日本原燃決得いやここがわかってないから毎回言っても同じことを繰り返されてるんだよ。はい。
1:32:33	はい。はい。でもノートさんが同じに見えるんだったら、
1:32:37	やればいいんです。違うだけです。
1:32:40	特にないですね。はい。今書いてあるヒガシが典型的なね、
1:32:47	皆さんに理解しやすいです。はい。
1:32:53	これは理解しましたのでちょっと。
1:32:55	まとめ方でちょっと1回、
1:32:58	まとめ直してきます。これ、今後がらっと変わるんで、変わりますね。変わるっていうね、次のステップに行きやすくなる。
1:33:08	まだわかんないんだけどね。
1:33:13	ロジック。
1:33:15	結果なんか跡がついている。
1:33:18	はい。わかったということで、
1:33:26	それと、なんかさっき、その前にずっとイケダG14 アビル化するんですね。
1:33:37	いえ、
1:33:38	最終的な、
1:33:40	出来高といったときに、
1:33:43	分割なんで、文化です。
1:33:44	はい。いや、それはどこですか。
1:33:48	大事、ここなんです、ポポツでやる方向。
1:33:55	うん。
1:33:56	集合するのと、その分離するのっていうのが、
1:34:00	目っていうのは一生だったらここでやる。
1:34:04	あくまでもだから4は同じグループで、データ並べただけだけど、これちょっと平均も何もできないって、何か違うってなので、分離ってやつが当然入るんですね。うん。
1:34:17	中、
1:34:19	中央は一緒。はい。中央店長。
1:34:23	以上です。
1:34:25	ツガネ中央とかそういう言葉がないとね、そういう概念は最初からこれないんだよ。

1:34:40	地下構造的にそこに段数が入ってるとか入ってないっていうのはあるよ。
1:34:46	でも中央とかニシカワヒガシとかってザイゼン一切ないんで、
1:34:51	11 のエリアしかないんで、
1:34:54	全くないわけじゃなくて、答え全くないわけじゃないよこっちでナカマを探していくんだ。ただ、タマウチの範囲としてはそういうこともないかもしれない。
1:35:04	それを用意しないでいってことなんで、ないという意識はそうですね。あんまりする必要がない。
1:35:13	交通がすいませんですけども、でも、単純に外れていくんで、
1:35:23	私は思って、
1:35:26	ちょっと
1:35:27	12 ごとに各並べました、丸で、
1:35:31	ポンと 12 号ナベタ時に、
1:35:34	何か似てるやつがおるねそれがまずスタート。そう。
1:35:37	似たやつがこいつを個人で複数個ついてるっていうのはOKなんだろうかって言って地質構造に行くというのがその次の段階。
1:35:46	内田ウノとコマツコウ図を見に行くんじゃないんだよ、なんで一緒かなのを分析するっていう、なんで一緒なのかなっていうのを分析、
1:35:56	するだからそこにさっき言った応答スペクトルみたいなのも、入ってくるっていうのは、そういうことも分析の内田でしょっていうのが浜崎さん。
1:36:07	その時一緒だよ。一緒でね、
1:36:12	その他の
1:36:14	トピックも確認したら、そこみんな一緒だよ。と。
1:36:19	ということで、
1:36:21	当然そうなるよね。
1:36:24	だから同一とみなして、もう差し支えなさそうだなみたいなのが理由があって、同一とさして、一緒だよ。
1:36:33	で、ドイツなんだったら、わざわざねデータ多いほうがいいよねっていう。うん。
1:36:40	ことによって、一緒にしたいんだけどどうですかねっていうことなんだろう。
1:36:45	ただそういうことはない。
1:36:47	だから、ロジックがそういう、
1:36:50	はい。
1:36:53	日本で最初から何とかまとめようと言っちゃってる。うん。



1:36:57	自然じゃない。集まる者を集めたら、アノダイゴ学校、いやいや、そうじゃない人だったらね、防火ってさ、誰を足す3が8ですと。
1:37:10	なんかね、3足す5が8ですってなったときに、答え一緒じゃん。
1:37:16	それは入れ替えてだけだよ。その論理と一緒にする。
1:37:21	これ当たり前じゃない。
1:37:26	ちょっとほとんど議論しない。
1:37:30	松原だけちょっと教えていただいてね、148 ページ目の地盤の応答のところは、そういう今のロジックでいくと5ポツのところ、5フタミ観音状態になるんですけどもう頭もそこで見て、
1:37:43	一緒かどうかの判断の一つ、それはだから、皆さんが決めることなんで、
1:37:51	何まで、うん。一緒だからこれは同一としてるその理由、根拠は、地下構造がそっくりだったらそれはそれだけでもいいそうですね。うん。
1:38:01	ねえ。
1:38:03	トモダするかしない。はい。
1:38:05	でしょ。はい。そんなとこまでやる必要ないよね。全く切り取ったらさ、ね、隣の家とさ。うん。うちはさっきかコード 801 緒だからそれは一緒だよ。
1:38:15	こう進んじゃうんですよ。だんだんだんだんずれていくとさ、どっからややこしくきたらね、これでもよろしいですね。
1:38:25	頑張っつね。
1:38:27	でもないんじゃないかもしれない。
1:38:30	だからこの団体で一生懸命やらない、どんどんどんどん実は収束していく。本当に法的にね、
1:38:43	本当にNBが違ってたら、最後一緒になる可能性ですけど、最後にしちゃったときに解析モデルしちゃった時に一緒になっちゃったっすね。
1:38:57	そうしてるところが一緒に高くなった。
1:39:02	これも一緒じゃない。
1:39:04	なるほど一部だけ一緒でも、よそが違うんだったら、また違うワダ決心してデータをふやさない。
1:39:13	タケシタ。
1:39:17	結局、ナツメからデータをふやさなくても、
1:39:22	イワサ、
1:39:23	ばらつきの範囲に入ってる。
1:39:29	平均の中心値はちょっと0で、
1:39:47	ようやくわかってきたように思います。
1:39:54	それで明医サキちゃんだけそれで後、5、5ポツなんですけども、

1:39:59	結構、今
1:40:01	170 ページぐらいごめんなさい、100、
1:40:05	66 ページまで、結果出ちゃってるんですけども、
1:40:10	かなりこれを見直しが必要かなと思っています。さらにその先の 6 分。
1:40:17	あるんですけどですね、これ、
1:40:20	まだ時間的なものがあるんでそこ、明日と明後日までに、
1:40:24	原因としてどうまとめるかですけども。
1:40:30	今のところはいい。
1:40:31	ありがとうございます。今いただいた
1:40:35	こんなレバーあります。ちょっとその上でですね、やっぱり我々もちょっと説明が既存にあるところがあればあまり無理に押し込むようなことは、するのはやっぱり我々も良くないとは思っていますのでちょっと、
1:40:52	日本ヤギ 5 ポツのところでも 2.2 てる結果の分析の秘書部として大戸セトのところも出てきますこれはまだ今回載せませんので、5 ポツもやったところで未完の状態になると。
1:41:04	で、6 ポツまで持って行って ABC、ABC ででかい ABCD をそれぞれ、躊躇を決めていくわけですけど、ここの 5 ポツが未完の状態でも 6 ポツに入っている、
1:41:14	果たして深い議論ができるのかなと、少し疑義があるなと思ってますんでこの能登スペクトルがいるところまで、
1:41:23	西尾。
1:41:26	はい。堀井。
1:41:29	宗アノ要るか要らんかも含めてちょっと現在でも議論をしないといいたいでないと思います。
1:41:35	あと、消費者わかります。今言ったそのオープンステップですね 146 ページの次回、これ次回っていうのは次回の会合ですか。
1:41:46	その時に、
1:41:48	音スペクトルってこれ一つのポイントになるんですけども、どういう音スペクトルを、
1:41:54	要はですね、
1:41:56	代表高久 2 グループ代表館野木曾下ってもう出てるんですよ。
1:42:01	そうすると、同じ中央エリアでもやっぱり一緒のものとは違うのはあるんですよ。
1:42:08	うん。かなり違ってると思うんですよ。要はそれだって表層の厚さも違うし。そうですね。飯塚末田と添田、そういう違いが出てきちゃうんですけども、今、
1:42:19	どん。幾らアクセス。

1:42:22	記帳したの。
1:42:23	それで、今、表現しようとされてます。日本原燃のオガセですけども、今やろうとしているのは、あくまでここで岩盤物性が、
1:42:32	同じかもしれないっていうところの確認でありますので、あくまでそこに表層地盤を入れたりそこに、何ですかね、場所場所の深さの表層等、看板の深さの境界の違いに差をつけてしまいますけども、
1:42:43	何が違うのかもわかんなくなってしまうところがありますので、あくまで岩盤の物性値Vsの決めたやつが、どんぐらいの差応答に与えるかということ、
1:42:52	てっぺんの深さはそろえて等で表層もなしでの、に、上の人用とピュアなその岩盤のVsの差だけがアンドウになるような分析で、湯本スペクトルにしようとしています。
1:43:04	そうすると、
1:43:06	じゃあ、にしているのかを言おうとしてこれはやろうとしておりましたけれど、
1:43:12	その、その前段のそうですね説明して、もう一緒、主だと思ってます。いや、うん。うん。
1:43:22	です。
1:43:24	津野。うん。見てる目線をツツミという目線、
1:43:29	にして欲しいんですね
1:43:32	っていうおんなじもの見てるだけで違って欲しい。
1:43:35	だから異論があつたら、そうすることだけで、とりあえずは見てて、それ、
1:43:41	見えない。そこまでは時間はかからない。そうですね。それ、断層があるねっていう時だけにしましょうっていう話です。
1:43:54	もちろんおんなじだと、ほとんど明らかに。
1:44:00	速度構造としてこれは同じだねっていうかそうですね。それ以外、あったもん。
1:44:07	ほんでこれ絶対ステップなんだじゃわかんないでしょ。そう。そう。
1:44:14	うん。
1:44:15	はい。私もちょっと土産同意権てるので、ちょっと本当にいるのかどうかから、ちょっともう1回ちゃんと見なおして、
1:44:24	5、5ポツの整理がどんだけできるのか、それからグループぽつにどう展開できるのかちょっと持ち帰って議論して、できるだけ出したいと思うんですけども。
1:44:33	あまり未完のもの。うん。5が未完なのにまた6持っていくのか、おかしな話になってる。

1:44:39	岩上さんがおっしゃっていただいた個数 4 ポツはこれ、イセを合わせると、全然。
1:44:54	はい。
1:44:58	向さん。
1:44:59	要するにどのデータを使うかっていうように、データが増えたり減ったりするんですよ。はい。
1:45:09	はい。
1:45:12	そういうことなんです。はい。
1:45:13	だから 3 ポツの表に変えて、4 ポツをね、
1:45:18	データが大井だねそれがやられる。
1:45:27	評議会てないんですね。はい。
1:45:30	はい。
1:45:30	そういうイメージ。
1:45:33	でそれが 6 ポツなのかね。はい。だとすると、肋骨の頭には、
1:45:39	もう 1 回、
1:45:40	ここで整理したベビーカーを、
1:45:44	根井。
1:45:44	還付するに、はい、お願いします。
1:45:48	でも実はそこは何かイタレーションしてもいい。
1:45:55	はい。
1:46:01	最終形の
1:46:05	ですね、減衰みたいなところは、
1:46:08	データ、
1:46:09	昔なきやいけないわけですね。
1:46:16	内田工場の。
1:46:23	社会的なモデルを、
1:46:26	そういう時間延びるかされるだけ。
1:46:33	だから、いずれにしろまずポポツちゃんとやることで、はい。
1:46:42	ぜひ持って行動する。
1:46:45	いうところ。
1:46:52	ちょっと 1 点。
1:46:54	信頼性が上がるかそれ全部、
1:46:57	変わってないのが難しい。
1:47:04	中で、
1:47:07	なるわけですよ。
1:47:13	そういうことを言ってるわけでしょ。

1:47:16	そういうことやらない。
1:47:24	ちょっとポポツが、allオオノリセットまでちょっと、ほぼの状態でちょっとやりました。
1:47:31	以上です。はい。
1:47:39	中に全部やるつもりだったんだから最初、
1:47:48	全部。
1:47:51	12ぐらいだから、
1:48:06	いや、
1:48:07	おっしゃったように、
1:48:10	いつまで、
1:48:11	特に、
1:48:15	今回の会合で、
1:48:18	今ある
1:48:19	図っているのをどうするか。
1:48:23	例えば、
1:48:25	ポツで、
1:48:26	事業者が一体、
1:48:29	減衰をこれに、
1:48:31	大関須田特定する。
1:48:33	今回やりたいんだけど、そういう、そういうところまで、
1:48:39	今回、
1:48:42	これなんてないですね。
1:48:44	6目オンダ 172 ページっていうかさ、データにデータが重なっちゃってんのね。
1:48:55	グレーの線なんかいらないので、どっちかだね。はい。
1:48:59	なんかこういうところも含めてさ。
1:49:02	ね、もうコウじゃないんだよね。
1:49:06	だってそうだよね。
1:49:09	はい。そうですね。はい。正確には平均値を取るんだったら平均で1本買うと。
1:49:16	聞いて終わりだよね。
1:49:17	その前にこういうのはね当然、はい、そう。
1:49:20	個別の終わりがそこそれがあるんでしょ。
1:49:23	違う、ゴコウの終わりがね、いろんなものがあってそこは何か全部重ね書き、
1:49:31	がいいんだけど、これは平均で、
1:49:34	言ったら、全部線1本、

1:49:37	イメージじゃないですね。
1:49:40	d項岩盤の自然形成みたいな、こんなのは別にコウじゃないんだよねっていう、そういうだけなんだよ。
1:49:48	73 ページは、これが結論なんです。いやソネだこの結論のね、元データがここにあればいいだけだから。はい。
1:49:59	でも、
1:50:00	もうVSなんか、このまんまじゃね何メートルから何メートルは1本ずつコウって言うだけだよ。
1:50:08	そういうふうになってないですよ。はい。
1:50:11	わかる。
1:50:18	この隙間が埋まってないんですね。
1:50:21	三宅久郷がちゃんとできてない。まず、5を作ってるかどうかのもう一度検討して、
1:50:35	別な見方。
1:50:37	長くて、まず、いや、だから6という、僕はあるでしょうね。後の次に、例えば下水は四つ五つのデータが、
1:50:47	あるんだけど、それぞれ1本にするっていう作業
1:50:52	じゃ、
1:50:53	最後まとめっていう意味では、
1:50:57	このページ、ページがあればいいんです。
1:51:02	家減衰をまとめるコウだけ1個起こしても、家パネルと、
1:51:09	まとめるっていう。
1:51:11	はい。
1:51:14	ある手法で取ってるものについて、その雨水をどういうふうにしていくのかと。
1:51:20	いうことの検討が6物であるというのにシンプルに、
1:51:25	別に中に入れてもいいんじゃない、構成を考えます。
1:51:31	それで、15分で相神等やってちょっと英語ができてないのでは入れるだけ。
1:51:39	はい。はい。
1:51:41	そういうことをやっていきます。
1:51:45	ですから、
1:51:46	向こうまで。
1:51:47	そうだね。ここまでナゴできてないので、6番、聞いてもらえないと思いますので、まず次回5で、どこどこができるかちょっと。中江。
1:51:59	無理かな。半分諦めがあるんですけど、ちょっと家でも諦めたらどんどんそうなんです。ですからちょっとチャレンジをしたいと思います。

1:52:16	できないものはないけど、
1:52:18	やるつもりで努力したいと思います。
1:52:31	まあ、あの人。
1:52:32	きてるところまでは、場所、イメージ、こういう考え方で、
1:52:42	先生、もう、
1:52:43	そういう
1:52:47	生まれたらもう判断、スなんですよ、精査されたんですが、
1:52:53	それを欲しいと。
1:52:56	例えば今みたいな、
1:52:57	ですから、そんな、
1:52:59	乱暴な、
1:53:02	材料減衰と一切下水終わって、ただ、
1:53:05	またそもそもやっていいでしょうみたいな。
1:53:08	だから、ちゃんとデータを見て、
1:53:13	なのかそういう、今みたいなロジックで、
1:53:16	どうすんのっていうのがわかった。
1:53:18	そういう理解で。
1:53:30	一応
1:53:31	いつまで触って7分までです。
1:53:42	はい、特になければ、ちょっと簡単に振り返って、
1:54:00	全体として、丹スポーツメーターの適用の
1:54:10	フォローを、
1:54:12	はい。
1:54:14	構成といたしまして、
1:54:16	3ポツ、4ポツ、呉大河内 につきまして、これちょっとそこをどこまで等を整理するかの
1:54:27	内訳というのをもう一度我々の中でも実践後のページ、やっていただきたい。
1:54:34	今回のミッションは、4ポツまできっちりとお示しするというのが最大のミッションであると、いうことを認識して参りたいというふうに思います。
1:54:45	こいつ話でございます。どうぞ。はい。松岡タテウチ委員。
1:54:52	頭骨については、今のお話へと
1:54:58	そういう意味ではそうですね。そうですね。
1:55:03	今日いただいたお話を基に、素直に、
1:55:07	何か自然と集まるという形のロジックに、きちんと直していくということで、素直に集まっていくものが集まっていた結果として、こうであるということ、5ポツでは、書き切ると。

1:55:23	いうことだというふうに認識してございまして、そういう意味で、例えば応答スペクトルみたいな話は少し後ろに飛ばすような構成になるのかなと思いつつ外せないなど。
1:55:35	なところかというふうに考えてございます。
1:55:38	成長後で出てくる。
1:55:41	必要もないんじゃないんですけど、レポートすべく、持ち帰って検討しましょう。
1:55:46	はい。4 ポット不要そこ合わせるとなると、おかしい話が出てくるんで、
1:55:52	エキスパートってそういう話が、
1:55:55	ページの 1 ポットのところでちゃんと書きがしますっていうのが一番最初の話。
1:56:03	はい。
1:56:08	はい、どうぞ。
1:56:17	江藤。6 ページのところの、実際はここですね、等ということで、
1:56:25	その後ろのところもそれと粒度関係。
1:56:28	機械の位置付けのところも含めて、
1:56:32	今後の
1:56:34	ホンダやオオハシ、
1:56:36	言っても、こんなにちょっとちゃんと入れる方、
1:56:40	会議ごとのこの方、
1:56:45	どう考えて、
1:56:59	一つでデータの信頼性の確認ができたというのを行った後にコウサンポツユキスエナガアノ長野という形にする。
1:57:09	必要があるということで、床屋さん検層等につきましては、一応データですコイケダテの一番近い深井内を 2 ポツで、
1:57:20	確認して、そのあとの種類っていうこととといったようなところをそちら、
1:57:26	あと、
1:57:27	思っております。
1:57:29	ヨシダとか、
1:57:31	ということでございます。
1:57:33	ですね、表層運用のデータにつきましては、ここの各基盤でのですね、味をとということでサンポスズエのところでは、これ組織相当のところ、
1:57:51	例えば啓蒙として為本しかないんであればそうであるし、こんなもん出してると、いうことを書いた上で、それがですね、データとして主になかったというのは分析のところ、
1:58:03	植栽とかということで、コウというふうに思います。



1:58:08	で、それからですね、4 ポツの 24 ページにも設置方針のところでございますけども、24 と 25 の、やってることをですね、この検討の繋がりと関係がわかるように、衛藤。
1:58:24	ということかというふうに思っています。
1:58:29	それから、
1:58:32	あれ、トラフィックは矢印で書くとかそういうのも、
1:58:37	はい。
1:58:41	34 ページ、既往の色、これは、
1:58:49	ねえ。
1:58:50	ここのですね、34 ページの特高ろうは、これはアノを書くべきことは仕様指導ともですけれども、これですね、このデータを取得するというところで分析のところではないということを踏まえた、
1:59:06	記載に修正が必要だというふうに思っています。
1:59:18	あと、同じようなすいません、28 ページの一番下、レポート。
1:59:27	人がある。
1:59:28	いかがでございます。
1:59:32	は、小部ツガネそこで、
1:59:36	今、
1:59:41	えとデータを集約のときは、外させてその扱いとして、そうですねと判断、目線を合わせるということで、別の判断も 5 月に持ち出さないと。
1:59:53	いうことで、それを前提に考えたいというふうに考えてございます。6、6 通ナゴセキとどこまで書いていくかというような我々中で検討させていただこうと思っておりますけども
2:00:05	六法として中間まとめていく方向性ぐらいの話は、括弧のかなというようなどころでお話させていただくのかなというふうに考えるところでございます。
2:00:22	規制庁、若菜があります。
2:00:27	なければ、スケジュール
2:00:34	明日は
2:00:36	夕方ご提出の、明後日またもう一度ご確認いただくという、
2:00:48	です。
2:00:55	はい。
2:00:56	時間もあるんで、非常に時間がかかるという、
2:01:00	ありがとうございました。どうもありがとうございました。